

2016年(平成28年)11月30日(水) NO 104号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ設置	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

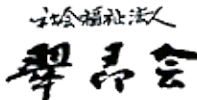
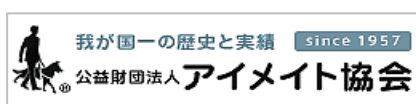


【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体・企業】



ごあいさつ



空気や水、太陽の光など、いつも当たり前存在しているものに対しては、それがどれほど大事なものでも、恩恵を感じる心はなかなか生まれてこないようです。

使わないと衰えるのは筋力や体力だけではありません。

考える、気づくといった心の働きにもトレーニングは必要です。

自分を支える様々な恩恵に意識を向けていくと、見えにくい恩にも気づくようになり、感謝の心が湧いてくるのではないのでしょうか。感謝の心を持つことは、道徳の実行そのものです。

日々、心を豊かにして育んでいきたいものです。

代表取締役 木戸 良樹

今月の良い話

「お母さんにありがとう」

私は愛知県内に幼稚園を三つと保育園を一つつくりましたけど、全部法人会しちゃったから、自分は裸。何にもなし。でも、それでいいの。

みんなが幸せになってくれれば。

私は何もいらん。「無」くらい強いものはないです。

お金儲けなんてしなくていい。教育者が儲けようなんてもつてのほか。

子供のため、みんなの幸せを願わなければ教育はできません。

うちの幼稚園には園訓が三つあります。

健康、円満、そして秩序。それが羅針盤ですわ。

健康は絶対に必要だけど、そうなるためには心の豊かさが必要です。

そしてその心の豊かさが円満へと導いてくれる。

でもいくら健康、円満でも、秩序がなければ集団生活を保つことはできません。

だから秩序が必要だというのが私の考えです。



私がよく親孝行は大事だというのも、園児たちの心の豊かさを育むためですよ。

ところが、いまは難しい時代になって、お母さんたちがお弁当をつくるのが面倒くさいからと、よそから取り寄せるでしょう。

でも、うちは月曜日だけはちゃんと手づくりのお弁当を持ってこさせるんです。日曜日の残りものでもいいから、お母さんが弁当をつめて、それを持たせなさいって。

お昼になると

「きょうはお母さん、ありがとうの日だね」

って言いながら、園児たちの机を回っていくと、あっちからもこっちからも、

私にお弁当の中身を見せにくるんですよ、それも喜んで。

子供にはただ口でお母さんに感謝しなきゃいけないよ、と言っても分からん。

でも、こうやってお弁当一つで、お母さんに「ありがとう」が言えるようになります。

ここから豊かな心が生まれる。

これが本当の教育ですよ。

それからもう一つ言いたいのが、子供は砂場から育つということ。

例えば、だんごをつくって綺麗に並べた女の子が、

「お父さん、ご飯ですよ」って言う(笑)。ままごと遊びですね。

「ありがとう、お父さん喜ぶね」

と私は言うんですけど、そうやって誰もが砂場から大きくなるんです。

早くから「1+1=2」を教えるよりも、遊びながら教育する。

それが本当の教育だと思いますね。

ところがいまは親孝行一つとっても、古いことのように思う方もおられるようですが、

親孝行が古いなんてことはありません。

古きもまた新なり。

今月の良い話 「末広がりの経営」



長野県伊那市にある中堅食品メーカー・伊那食品工業(株)の事例を紹介しましょう。

同社は業務用寒天の製造で国内 80 パーセントのシェアを誇る業界トップ企業ですが、それまで斜陽食品だった寒天を優れた研究開発によって化粧品など他業種への応用を可能とし、48 年間増収増益を達成しました。長期にわたる安定成長の秘訣について同社の

塚越寛会長は、「あえて成長を急がない」「決して無理をしない」と語っています。

これを象徴するものに次のエピソードがあります。

同社は昭和 56 年に家庭用ゼリーの素(カップゼリー80℃)を開発。

味の良さと手軽さが地元で大ヒットを呼び、全国チェーンのスーパーから引き合いが来ました。

普通に考えれば願ってもない飛躍のチャンスでしたが、塚越会長はそれを断りました。

「この時に全国展開すれば大きな売上げが見込めたと思います。しかし家庭用製品に力を入れすぎれば、主力である業務用製品の開発が疎かになってしまい、バランスが崩れてしまう。

カップゼリーが未来永劫ヒットし続ける保証はありません。

一時的な儲けを重視して、主力を疎かにしては持続的な成長が難しくなる」

このように同社が急成長や一時的な儲けを志向せず、バランスの良い発展ができたのも、

「企業の目標は永続し続けること」と言う塚越会長の経営理念が大きな要因だといえるでしょう。

こうした事例からも見て取れるように、企業が安定した成長を実現するためには、本業を重視することはもちろん、トップである経営者の事業に対する考え方や理念が重要な要素となります。

また、企業の盛衰のパターンには、「太く短く」「細く長く」「末広がり」などさまざまな形がありますが、企業がどのような成長・発展の軌跡をたどるのかも、経営者の考え方に大きく影響されるものだといえるでしょう。

廣池千九郎は、望ましい成長・発展のあり方について次のように述べています。

「従来は、不道德は太く短く、道德は細く長くと申しておりましたが、細く長いということと太く短いということは、これを数理的に見ればその結果が同じであります。最高道德はそういうつまらないものではない。末広性・・・段々に広がってきて、長くてそうしてそれが段々に終わりに広がってくる」

また先の塚越会長も、「私の持論は末広がりです。常に末広がりの線があって、その一区間を私が預かっているだけと考えれば決して無理をする必要はないんですね。むしろ次の人が伸びる余地を残してあげたほうがいいわけで、末広がりというのは皆を幸せにするんです」と語っています。

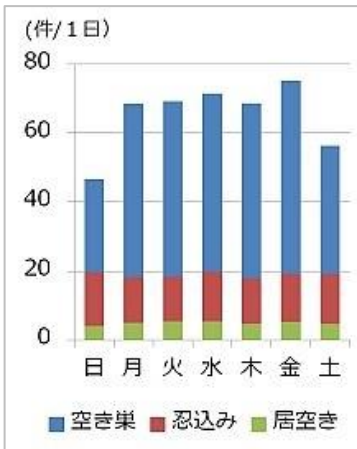
しかしながら、経営者がどんなに末広がりの発展を望んだとしても、

日々の経営の中では“まさかの坂”など思いもよらぬ困難に遭遇することがあります。

「亢龍(こうりゅう)悔い有り」とあるように、順境の時でも決して有頂天になることなく、常に自己の人間性や品性を高めていくことが、末広がりを実現するための最も重要な条件となることを肝に銘じるべきでしょう。



事件ファイル NO104 泥棒の活動する曜日



2015年の住宅侵入盗は4万6千件でした。

その内訳は、

空き巣（留守中）68%

忍込み（就寝中）27%

居空き（在宅中）5%となります。

右のグラフから、忍込みと居空きは曜日に関係なく発生していますが、空き巣は平日に集中しているのがわかります。会社や学校に行っている日中の留守を狙い犯行に及んでいるのです。

入られづらい住環境整備を一緒に考えましょう。

プロ太の小話集 NO104 『おもちゃ』

三人の子供を持つ父親が、福引きでおもちゃを引き当てました。

彼は家に帰ると、子供たちを集めて言いました。

「さて、おもちゃを誰にあげようか・・・

ママに逆らわない子は誰かな？

ママに口答えしない子は誰かな？

ママの言うことを何でも聞く子は誰かな？」

顔を見合わせた子供たちは、口を揃えてこう答えました。

「分かったよ。おもちゃはパパのものだよ・・・」



今月のK-PURO ニュースいかがでしたか？

ロータリークラブの奉仕活動の一環として、タイ東北部・ウボンラチャターニー県の小学校へ行ってきました。

この辺りは本当に田舎で、舗装されていないデコボコの道路では牛としかすれ違いません。

外国人が訪れたのは初めてだったようです。



その反面、首都バンコクの発展は目を見張るものがありました。

街は人々がアリのように溢れ、高層ビルや高層マンションが乱立し、鉄道もどんどん延伸しています。建設クレーンがあちこちに散見され、もの凄い躍動感を感じさせられます。

しかし、ウボンの子供もたちの眼はとても綺麗で澄みきっています。

人として、どちらの環境が本当に幸せなのかを考えさせられます。

注：プロ太とは、写真のK-PURO番犬です（体長10メートル・体重1トン・無敵無敗）